

附小だより 2月号

令和8年2月16日
兵庫教育大学附属小学校
校長 富田 明徳

令和7年度小・中学校合同研究発表大会開催



1月31日(土) 令和7年度研究発表大会を開催しました。

小学校では「情報活用能力を基盤とした教科横断的な学び」中学校では「STEAMが結ぶ探究的な学び」を副題として、小・中学校共に

大学と共同研究を進めてきた「STEAM教育」を基盤とした3年目の教育実践の成果を発表しました。

小・中学校合わせて29本(昨年20本)の研究授業を行い、さらに全学年でSTEAM単元の実践発表、10の教科分科会が開催されました。どの会場もあふれる様な人で満員となりました。今回は特に、北は北海道、南は沖縄県から、500名を超える多くの先生方に参加いただき、加えてオンラインでも100名以上のアクセスがあり、総数600名を超え、昨年以上に先生方の学びの場となることができたことを大変うれしく思います。

今回の研究発表大会の成功のために、朝早くから駐車場整理や受付、校内案内係等様々な所でご協力いただいた小学校及び中学校のPTA役員やご参観いただいた保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

研究大会の締めくくりの講演では、東京学芸大学教職大学院教授 堀田龍也先生にご登壇いただきました。堀田先生はICT活用等の我が国の第一人者で、教育改革の方向性について検討を進める中教審の中核でご活躍されておられます。

講演会では、附属小中学校の授業の場面を示しながら、本校の取組と次期学習指導要領の最新の方向性との関連についても、貴重なご示唆をいただくことができました。さらに、参加者に対し、自分の地域に本校のような先進校があるということは大変有利であること、また、本校がやってきたことは、我が国の将来を占うような取組があるので今後もご注目をと述べられました。



この講演については、兵庫県たつの市の先生方の多大なご支援もあって実現いたしました。兵教大附属学校園は「知の拠点」として、地域に貢献することをめざしています。



また、取組を進める中で、教員不足や働き方改革との両立といった、公立学校と共通の課題の解決をも同時にめざしています。これからも地域の公立学校の多くの先生方と連携しながら、共に学ぶ機会の創出をめざしてまいります。

おわりに、森山潤学長をはじめ大学関係者、加東市教育委員会、ゲストティーチャーやボランティアの皆様のご支援で大変素晴らしい研究大会となりましたこと心から深く感謝いたします。誠にありがとうございました。



一面の雪景色になりました

2月9日(月)は前日降った雪が残り、今日は朝から一面雪景色でした。朝からとても冷え込みましたが、子どもたちにとっては何のその！早速雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、グラウンド中を走り回って楽しむ姿がありました。



いろんなところから笑い声や叫び声が聞こえてきて、子どもたちの嬉しそうな姿にこちらまで嬉しくなっていました。(小学校ホームページから)

人権を考える市民の集いに参加しました。

2月7日(土) 加東市地域交流センターで「人権を考える市民のつどい」が開催され、本校3年生が作文を発表しました。子どもの成長過程を感じさせられる作文でしたので、皆さんにご紹介(裏面掲載)いたします。

作文にあるように日頃の学校生活では、様々なトラブルが起こります。これからの未来を生きる子どもたちにとって、最も大切なことは、外国人をはじめとして、環境や考え方が異なる多様な人々と、自らの主張もしつつ折り合いをつけて、物事を成し遂げる力であると考えています。

保護者の皆様と協力して、苦手なことや嫌なこと、思い通りにならないことやトラブルにどのような対処をするか、未来を生きる子どもたちにとって、そんな力がこれから大変重要であると考えます。本校では、スクールロイヤーと、先進的に児童発達支援医いわゆるスクールドクターを導入し、専門的な見地からの対応も進めています。

いじめ事案はささいなことから深刻化することがあります。何か起こった時には、学校に是非ご相談いただければと思います。



今後の主な行事予定

今月の表彰(2/5)

- 2月
- 18日(水) 委員会活動⑥(5・6年生)
附属中学校入学説明会 15:30
- 23日(祝) 天皇誕生日
- 28日(土) 附小っ子学園祭 12:30 下校
- 3月
- 2日(月) 振替休日
- 3日(水) PTA本部役員会(19:00)
- 7日(土) PTA運営委員会(10:00)
- 11日(水) 防災学習 委員会活動⑥(4・5年生)
- 13日(金) ありがとうの班 全校 15:20 下校
- 17日(火) 卒業式予行
- 19日(木) 第44回卒業式

「わかっているのに」

兵庫教育大学附属小学校

みなさんには、大切な友達はいますか。ぼくにとって友達は、悩みを相談したり、一緒に遊んだり、助け合ったりできる欠かせない存在です。でも、ぼくは、そんな友達を傷つけてしまった経験があります。

少し前のことです。何気ない気持ちで、友達の消しゴムをちょっとだけ隠したことがあります。その友達は、いつもちゃんと勉強していて、ぼくよりもまじめでした。だから、ちょっとだけ、ふざけてみたくなったのです。友達が席をはずしたすきに、友達の消しゴムを机の奥のはしに入れました。見つけにくい場所です。ぼくは少し笑いながら、自分の机に戻りました。そのときは、「すぐに見つかるはず、ただのいたずらだ。」とかるく考えていました。友達が少し探して困るくらいなら、おもしろいだろうと思ったのです。

でも、そのあとすぐに友達が戻ってきました。消しゴムがないことに気づいた友達は、机の上をあちこち探しはじめました。ぼくは心の中で笑いをこらえながら、何もなかったようにしていました。けれど、友達はだんだん困った顔になっていきました。机の奥まで手を入れて探しているのを見て、胸がざわざわして、不安な気持ちでドキドキしました。これは、「ただのいたずらではすまないかもしれない。」とそのとき初めて思いました。

友達は消しゴムを見つけられず、ため息をつきました。その様子を見て、おもしろがる気持ちはなくなり、自分が悪いことをしたと強く感じました。でも、言わなければいけないと分かっているのに、逃げたい気持ちが勝ってしまい、そのときはまだ勇気が出ず、「実はぼくがやった」とは言えませんでした。友達はぼくを見て、

「消しゴム、どこに行ったんだろう。」と言いました。ぼくは何も言えず、だまってうつむきました。その日、友達は消しゴムがないまま勉強を続けました。ぼくは、時間がすぎるのを待つことしかできず、友達の顔を見るたびに胸が痛くなりました。いたずらだと思っていたことが、友達にとっては本当に困ることだったのです。

次の日、友達はまだ消しゴムを探していました。その姿を見て、もう黙っていられなくなりました。胸がいっぱいになり、このままではいけないと思って、ついに正直に話すことにしました。

「ごめん、ぼくが机の奥に入れたんだ。」と言うと、友達は少しびっくりした顔をしました。ぼくは、それから消しゴムを取り出して、友達に渡しました。その瞬間、友達はだまっていました。怒っているかと思い、とても不安になりましたが、友達は少しホッとした顔もしていました。そして、

「もう、そういうことはやめてね。」と言いました。その短い言葉が、心に強く残りました。

ぼくはその日、友達の気持ちをちゃんと考えないで行動してしまったことを、本当に悪いと思いました。それから、友達に迷惑をかけるようなことはしないと心に決めました。小さなことでも、友達が困ることは絶対にやめようと思いました。消しゴムのことは小さな出来事でしたが、ぼくにとってはとても大きな勉強になりました。

今では、友達の物をさわるときには、声をかけるようにしています。勝手に動かしたり隠したりすることは、おもしろそうに見えても、してはいけないことだと分かりました。友達の気持ちを考えることは、思っていたよりも大切で、むずかしいことです。簡単なことでも、相手にとっては大きな困りごとになることがあります。

あの消しゴムの出来事は、今でもぼくの心にずっと残っています。友達を困らせてしまったことは消えませんが、その経験から、友達を思いやることの大切さを学ぶことができました。これからも、小さなことでも相手の気持ちを考えて、もし困らせてしまったら、すぐに「ごめんなさい。」と言える人でいたいです。「友達の気持ちを大事にすること」これからもずっと忘れない、ぼくの心の中の大切なことです。

【備考】